



## Lesson.1 バイトも派遣もかけがえのない経験 [応募書類① 自己PR]

履歴書や職務経歴書などの応募書類。就職活動では避けられない課題ですよね。就職氷河期世代のわたしたちが特に困るのが「自己PR」。就活サイトをのぞくと、「対前年比△△%の売上拡大」とか「新規プロジェクトに貢献」といったキラキラした記載例が並んでいます。こんな「まぶしい」文例を読むと、気後れしてしまいそうになることもしばしば。

ハローワークの窓口に行ったらの方に自己PRが書けない理由を尋ねると、やはり「たいした仕事をしてきてないから」とか「派遣とかバイトしか経験がないから」といった答えが返ってきます。でも、待ってください！

単純に思える仕事であっても、派遣やバイトのスタッフが担当する仕事であったとしても、そこから得た経験やスキルはたくさんあるはず。 「営業職」や「製造技術職」といった名前がついた職種の経験はなくても、それらの基礎になる「コミュニケーション力」とか「注意力」「持久力」といった、仕事に必要な基本的な姿勢（＝ヒューマンスキル）はきっと身につけています。一度、これまでの経験を振り返ってみましょう。そして、自信を持って記載しましょう。

これまでの様々な経験は、あなたにとってはかけがえのない大切な経験です。大事にしたいと思います。あなたの良さをちゃんとわかってくれる会社があります。

応募書類がうまく書けないときは、「35歳からのキャリアアップコーナー」で、あなたの経験を聞かせてください。スタッフといっしょに、あなただけの自己PRを見つけましょう。

### 【自己PR（アピールポイント）の参考例】

- ・（販売職を中心に経験してきた場合） □□□の販売を△年間経験しました。お客様のご要望やお気持ちを正確に汲み取り、お客様に最適なサービスのご提案ができるようになりました。
- ・（電話対応を多く経験した場合） □□□ではお客様からのお電話を受ける機会が多くありました。クレームの対応をすることもあり、お客様の気持ちを受け止めた上で問題点を切り分け、適切な担当部署に引き継ぐように心がけました。
- ・（製造職を長く経験してきた場合） □□□の製造を△年間経験しました。安全に配慮しながら、集中力をもって粘り強く職務を続けた結果、スタッフリーダーを任せられるようになりました。